

# ぱおぱお ニュース

毎日蒸し暑い日が続きますね。みなさんいかがお過ごしでしょうか？  
さて、ぱおぱおニュースですが、今月号からリニューアルいたしました！  
今後は**両面印刷で毎月発行**となり、より多くの役立つ情報をお届けしたいと思います。  
どうぞよろしく願いいたします。

## < 病気の豆知識 >

### 今月は... 『とびひ』(伝染性膿痂疹)

この時期、虫刺され跡などで気をつけたいのが**とびひ**です。  
とびひとは夏に多い病気で、ブドウ球菌や連鎖球菌という細菌による感染症です。  
虫刺されの掻きこわしやあせもなど、傷ができて弱った皮膚には感染しやすく、  
感染すると水ぶくれとなり、強いかゆみを伴います。  
患部を掻いた手であちこち触ると広がってしまいます。  
発疹が『飛び火』していく様子から『とびひ』と呼ばれるそうです。



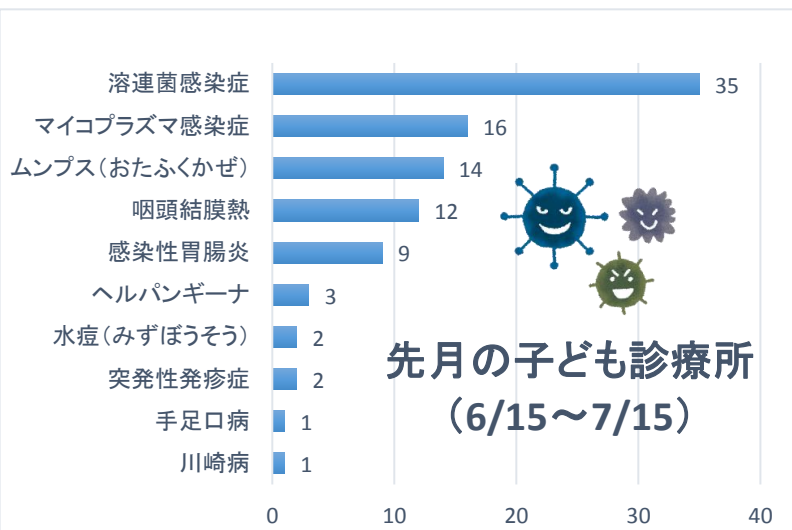
### 治療と登園・登校のめやす

治療は症状によりますが、抗生物質のお薬を塗ったり、飲んだりします。患部は他に触れないようしっかりとガーゼで保護します。かゆみ止めのお薬を飲むこともあります。

登園や登校は学校保健法では特に制限されていません。患部をしっかりと覆えば行ってもかまいませんが、広範囲の場合は他のお子さんへ感染する恐れがあるので治療開始後2~3日はお休みしましょう。  
プールは患部がすべて乾燥するまでお休みします。



## < 感染症情報 >



### 子ども診療所では...

・溶連菌感染症のお子さんが目立ちます。  
5月の連休以降より、おたふくかぜの流行が続いています。7月後半よりヘルパンギーナも流行しはじめており、今後増える兆しです。  
・検査をしても何も出ないのに、お熱が何日も続くお子さんも多くみられました。

### 病児保育室ぱおぱおでは...

・喉やおなかの風邪が多く、食欲の落ちているお子さんが目立ちました。  
・溶連菌、マイコプラズマ、おたふくかぜのお子さんもいました。

## < 今月は蚊のお話 >



### 蚊は赤ちゃんがお好き!?

これから夏場は虫刺されが増える時期ですね。中でも厄介なのが蚊ではないでしょうか。

諸説ありますが、蚊は炭酸ガスの濃度を感知して高い方へ飛んで行き刺すと言われています。赤ちゃんは体重あたりの皮膚面積が広く代謝も活発なので、いわゆる皮膚呼吸では大人よりも多くの炭酸ガスを排出しているのですね。

また、蚊は温度や湿度のセンサーも持ち合わせているようです。大人に比べると赤ちゃんは体温も高めで汗かきですよ。血を吸うメスの蚊にとっては最高のターゲットなのかもしれませんね…

### 蚊に刺されないようにするには？

肌の露出はできるだけ控えるようにして

虫よけをしっかりとすることが一番の予防となります。

汗の臭いも大好きなので、汗をかいたら拭き取ったり着替えると効果的です。

また、蚊は生まれた場所からの行動範囲が狭く、半径15メートルくらいと言われています。お庭やベランダに産卵場所となる水場を作らないよう溜まった雨水などはすぐに流しましょう。



## <スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。

### 保育室ではじめて会ったS君（6歳）とK君（5歳）

はじめはお互いに緊張している様子でしたが

自己紹介をしてトランプやオセロゲームをしているうちにあっという間に仲良しに♪

保育士も二人の間に入り込めないほど妖怪ウォッチの話題で盛り上がっていました。

初対面でもすぐに仲良しになれてしまう子ども達って本当に素敵ですね。

病気でつらい時に来る病児保育室ですが

新しいお友達との出会いの場にもなり、とても嬉しく感じています。 （大髭）



## 保育室のご利用には 事前の登録が必要です!

新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお（月～金 8:30～17:30）

TEL 042-521-2777

